

熱帯森林保護団体代表 南研子さん

2015・アマゾン支援報告会

—アマゾンの森を失うことは私たちにとって何を意味するのか?—

・アマゾンの森は地球の酸素の約4分の1を供給し、地球環境のバランスを維持しています。生物多様性の宝庫であるアマゾンの森が、開発や気候変動による自然発火などで、今も毎年広島県の約2倍もの面積が消失しています。その原因は私たちの生活と深く結びついています。このままでは、あと数十年でアマゾンの森は無くなってしまいかもかもしれません。

・先住民インディオは伝えます。「森がなくなればインディオは死ぬ。しかしお前たちの世界も滅びることを忘れてはならない」と・・・

・徹底した現場主義の支援活動から熱帯森林保護団体代表南研子さんが、アマゾンの現状とアマゾンと私たちの生活との繋がりや、先住民インディオの暮らしぶりから私たちが向かうべき未来への道筋など、26回目の現地支援活動から見たもの感じたものを、興味深い現地の写真を見ながらお話しします。



南 研子さん プロフィール

特別活動法人 熱帯森林保護団体 代表

1989年イギリスの歌手スティングが「アマゾンを守ろう」というワールドツアーを実施し来日した際、同行していたアマゾンの先住民カヤポ族リーダー、ラオーニと出会い、それを機に同年5月に当団体を設立。その後26年間今年までに28回現地を訪れ、毎年数か月アマゾンのジャングルで先住民とともに暮らし、森林保全や先住民の生活存続を目的としたさまざまなプロジェクトを行い支援活動を続けている。カヤポ族長老カリスマ的なインディオ・ラオーニを2度日本に招へいた。2007年の広島で開催した「アマゾン・インディオ文化展」2014年「The Spirit of Amazon 宮島とアマゾンがつながる！」など広島との繋がりも深い。著書に「アマゾン・インディオからの伝言」「アマゾン・森の精霊からの声」がある。

とき : 2015年10月24日(土) 18時30分~20時30分

ところ : 広島市まちづくり市民交流プラザ*北棟 研修室C

広島市中区袋町6-36

お話し : 熱帯森林保護団体代表 南 研子

参加費 : 500円 *学生無料

主催 : 熱帯森林保護団体ひろしま

問い合わせ : 松岡 (082-923-5166)



